

「おいしいおこめありがとう」

二年 まつぎき 円

わたしは、ごはんが大すきです。わたしが
生まれる前から、おじいちゃんとおばあちゃん
とおとうさんと、おこめをつくっていまし
た。春には、おばあちゃんがそだてたなえで
たうえをし、あきには、こがね色にみのった
おこめをし、うかくして、おいしいおこめを
たべていました。

でも、二年前におじいちゃんが
お空にいってからは、おとうさんがおしごと
をしながら、おとうさんは、お休みの日には
あさ早くから、草かきやひりょうをまいた
り、おしごとに行く前には、田んぼの水のり
ょうを見たりと、おこめづくりは本とうに
大へんなのです。それでもおとうさんは、い
つも一生けんめいに、こころをこめづくり
を
し
て
い
る
の
で
、
こ
年
も
あ
ま
り
な
い
と
た
べ
る
し
ん
ま
い
を
、
今
か
ら
と
も

たのしみにしていきます。

おじいちゃん、田んぼのこしとくれてあ
りがとう。おばあちゃん、りっばななえをつ
くってくれてありがとう。らい年もおねがい
します。そしておとうさん、おしごとしながら
らおいしいおこめをつくってくれてありがとう
う。そう、いうおいしいおこめたべられて、わ
たしはしあわせです。